

# 渥美紫陽花探訪記

3月某日、ある植物を求めて名古屋園芸仕入れ担当スタッフ3名は、愛知県渥美半島へとやってきました。渥美半島の気候は黒潮の影響から年間を通じて温暖であり、植物を生産するには適した土地です。実際に花の生産が全国一である愛知県の内、約4割がここ渥美半島で生産されています。

生産品目は切り花も鉢花も多種に渡り、中でも一番有名なのが、夜間温室内に明かりを灯し開花調整を行う「電照菊」でしょうか。もちろん蘭や観葉植物の生産も盛んであり、渥美半島産の植物だけで花屋の仕入れが賅えるといっても過言ではないでしょう。

というわけで求める植物はその都度違えど、年に何回かは渥美を訪れることになるのですが、今回の目的はタイトルにある通り紫陽花（以下アジサイ）。



サイ）。母の日のアジサイは例年ご好評いただいております。私たちが特別品質を気にかける品目でもあります。

実は今のご時世、仕入れはパソコン上で簡単にできてしまいます。それでもアジサイは全国各地の多くの生産者が栽培する品目であるため、花付きはもちろんのこと、ボリューム感、株の高さ、葉の厚み、発色の良さ等を配ることが多く、事前に有力な生産者の当たりを付けておくことが重要になってきます。

また、産地→市場→園芸店の距離が近いと輸送中のストレスや荷痛みが軽減できるため、名古屋園芸近郊で生産していることも当店にとっては大きなメリットとなります。よって地元愛知県渥美の上手な生産者の元に我々が求めるアジサイがあるのです。

今回は4件のアジサイ農家の元に訪れましたが、それぞれ作り方に独自のこだわりがあり、また品種の多様さも相まって見るものを飽きさせない光景が続きました。生産者の皆さんのお話を伺うと、ここ数年渥美全体のアジサイの質が高くなっているとのこと。渥美のアジサイは5号鉢サイズがほとんどですが、関東産で6号鉢のものもボリュームも遜色ない株が多く見受けられます。

また上述の通り渥美は温暖であり、冬も暖かな環境を利用して露地で越冬させます。アジサイは一定期間適度な寒さに当たった後、ハウス内で加温させることで開花します。この性質を利用して順番にハウスに移すことで開花時期をずらすことができ、渥美のアジサイは3月から6月まで長期に出荷されているのです。

この間、常に同一の品種が出荷されているわけではなく、品種による開花の早晩も合わせて細かに出荷調整されており、花屋の店頭には並ぶ品種も毎週の様に変ります。何十種類もの品種の特性を理解し、肥料や緩化剤、灌水等のタイミングを的確に行なわなければ、温室の栽培スペースを最大限に活かすことはできません。



実は、渥美のアジサイは3月のものも出来が良いということで、今年の名古屋園芸は例年より早めにアジサイの販売を始めました。3月は暖かくなってアジサイにとっても過ごしやすく、株自体も節間が詰まってまとまりが良いため、皆様にご好評いただきました。

そして品種も変わりながら、徐々にアジサイの売り場面積も増え、4月の春本番、5月の母の日、そしてアジサイの最も似合う季節である6月の梅雨を迎えます。

日本原産のアジサイが西洋に渡り、品種改良されて再び日本に戻り、一大生産地へと進化を遂げた渥美で生産される。以前は海外で育種されたアジサイを「西洋アジサイ」や学名である「ハイドラランジア」といった名で呼んで区別していましたが、最近では総じて「アジサイ」と呼ぶことが増えてきました。別物ではなくアジサイの正当な進化であるという評価に変わってきたからでしょうか。

渥美から発信される日本のアジサイの新たな魅力に名古屋園芸は今後も注目していきます！



\*写真は3月に撮影したものです。現在店頭には並んでいない品種もございますが、予めご了承ください。

# 観葉植物コーディネート術

～インテリアに合わせて楽しむ～



① ネムノキ・エバーフレッシュ  
夜になると葉を閉じるネムノキ。ふんわりと茂った優しい葉は見ているだけで癒されます。リラックスして過ごしたいリビングやプライベートルームにオススメ。



② フィロデンドロン・オキシカルジウム（挿入り）  
明るい挿入り挿木の葉は空間まで明るくしてくれますね。挿入り挿木の葉は日焼けしやすいので、直射日光が当たる場所は避け柔らかい光で育てあげましょう。



③ ヒメモンステラ&ディフェンバキア  
（ハイドラカルチャー仕立て）  
ハイドラカルチャーならキッチンやダイニングでも清潔。瑞々しいグリーンが楽しいお食事の一時の良き脇役となります。

新年度が始まって早一か月、新緑が爽やかな季節となりました。大型連休に母の日と楽しみが多い反面、進学や入社、異動等で身の回りの環境が変化した事による緊張感や、急激な気温の上昇で心身ともに疲労やストレスを感じやすい時期です。そんな貴方を癒してくれる観葉植物を、お部屋に飾ってませんか？

興味はあるけれど枯らしたらどうしよう、手間がかかるんじゃないかと踏み出せない方でも、まずは家具の上などに置いて楽しめる小さな観葉植物なら挑戦しやすいかと思えます。今回は簡単な管理方法のおさらいをしながら、それぞれのシーンに合わせた観葉植物のご提案をさせていただきます。

## \*洋室に飾りたい観葉植物

リビングやプライベートルームなど、洋風の室内にはスタイリッシュな陶器鉢でドレスアップした観葉植物がオススメ。お花と違って主張が強すぎない観葉植物のグリーンは、比較的色のコーディネートがしやすいので、インテリアに合わせた鉢の色で統一感のある空間を演出してもよし、敢えて挿し色になるような鉢でより印象的なインテリアとして仕上げるのもよしです。

水やり後、受皿に溜まったお水は捨ててあげてください。専属の受皿は浅い事が多いので、水やり用にプラスチックの受皿を用意するのがオススメです。また、冷暖房が直接当たるような置き場所は避けましょう。

## \*和室に飾りたい観葉植物

和の雰囲気と合わせた観葉植物ならオシャレな鉢カバーで演出してみるのはいかがでしょうか。ナチュラルな素材感を選べばグリーンとの癒し効果を高めるだけでなく、モダンな印象にも仕上がります。

鉢カバーを使用する場合、水が中に溜まってしまわないようにカバーから出して水やりを行うのが無難です。また、中の鉢が表面から見えて気になる場合はパークチップやヤシの繊維などを使えば見た目の美しさが格段に上がりますよ。

## \*キッチンやパウダールームに飾りたい観葉植物

水場に観葉植物を飾る場合、土が流出したり虫がわくかも…と、清潔感の面で色々気になってしまいますよね。そんな場所には土を使わない「ハイドラカルチャー」がオススメです。器に水を溜めておいて、水がなくなってからまたつぎ足すだけなので初心者さんにも管理しやすいのが嬉しいポイントです。

近くに窓がない場合はなるべく耐陰性の強い植物（ドラセナやシダ類、フィロデンドロン等）を選びましょう。ただし、人口の光だけでは長期間の栽培は困難です。

暖かいこの時期は観葉植物の出荷が豊富なため、2階販売売り場はまるで新築のジャングル？「一見の価値あり」な珍しい植物とも出会えるかもしれません。スタッフもご相談に乗りますので、ぜひお気軽にご来店ください。



④ ヒメモンステラ&ガジュマル  
（ハイドラカルチャー仕立て）  
一輪挿しの花器にハイドラカルチャーをコーディネート。涼し気なガラスは水場のインテリアにもよく馴染みます。



⑤ ドラセナ・トルネード  
渦を巻いたような葉が特徴の珍しいドラセナ。木目調の陶器鉢なら和洋どちらのインテリアにも合わせられます。



⑥ アスプレニウム・ニダス・レズリー  
ウェーブを描いたような葉がユニークなアスプレニウム。シダの一種なので直射日光は避けて明るい日陰で管理しましょう。



⑦ モンステラ  
切れ込みの入った大きな葉がボリュームいっぱい茂った姿とところとしたアイアンの鉢カバーが相性抜群。印象的なインテリアになりました。

## information..... TV出演情報

当社社長 小笠原晋が NHK趣味の園芸にて観葉植物の楽しみ方をレクチャーいたします。ぜひご覧くださいませ。

「家具の上に置いて楽しむ観葉植物」  
放送/6月10日(日)午前8:30~  
再放送/6月12日(火)午前10:25~  
6月14日(木)午後0:30~